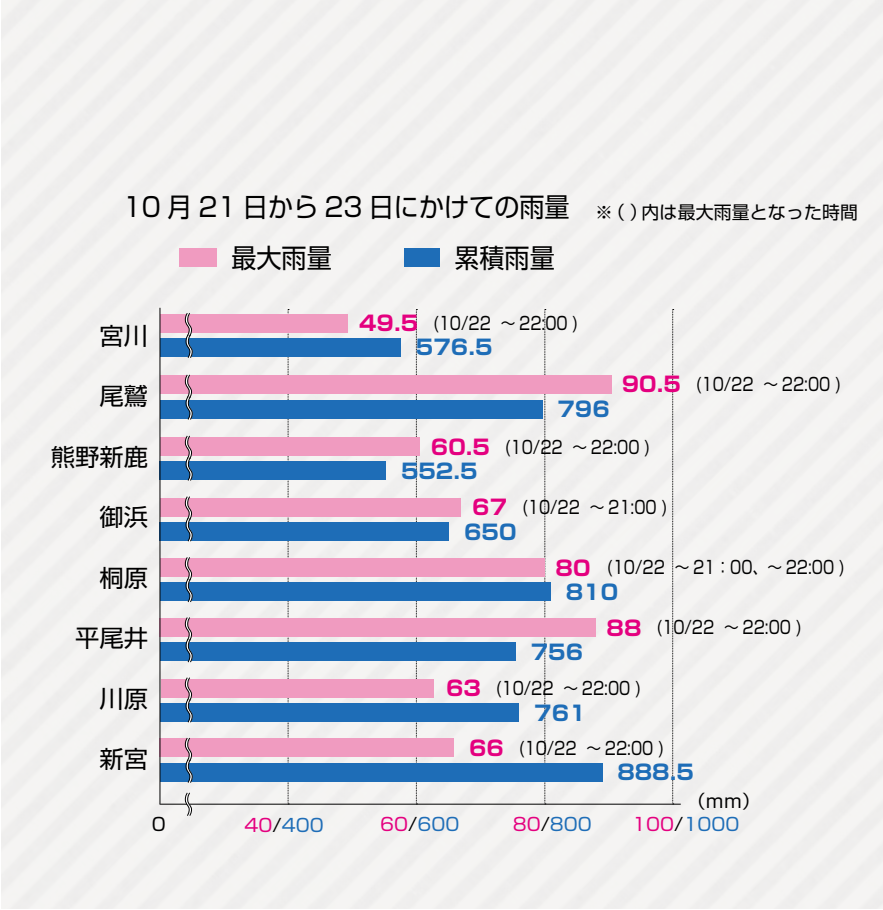




01. 道路が大きく陥没した成川地区の町道七滝線。02. 河川の増水により堰（せき）が崩れた相野谷川。03. 民家の近くでも土砂崩れが発生。04. 飯盛地区では浸水被害が発生。

台風第21号により町内各地で被害が発生

改めて風水害への備えを

10月16日に発生した台風第21号は、「超大型」で「非常に強い勢力」の台風に成長し、23日午前3時ごろに静岡県御前崎市に上陸しました。本州南岸に停滞する前線と台風本体の雨雲により、西日本から東北地方までの広い地域で大雨となり、全国各地で記録的な豪雨を観測しました。当町においても、大雨による家屋の浸水被害が136棟、また、土砂災害、田畑の冠水などの被害が発生しました。

台風の概要

台風第21号は、10月16日にミクロネシア南部で発生し、20日時点で、強風域が半径800km以上の「超大型」台風となりました。

さらに、21日7時時点で、中心付近の最大風速が44m/s以上の「非常に強い勢力」の台風に成長しました。

その後、近畿地方や東海地方を暴風域に巻き込みながら速度を上げて東海沖を進み、23日午前3時ごろに静岡県御前崎市付近に上陸。関東地方を通過し東北沖へ抜け、23日15時に北海道の東で温帯低気圧に変化しました。



記録的な雨量

平成3年以降の台風で初めて超大型の状態の上陸した台風第21号は、本州南岸に停滞する前線および台風本体の雨雲により、西日本から東北地方にかけて大雨となり、特に台風からの湿った風がぶつかる紀伊半島の和歌山県、奈良県、三重

県を中心に24時間降水量が400ミリ前後の大雨となりました。

また、和歌山県新宮市では48時間の雨量が888.5mmとなる観測史上1位の雨を記録しました。

紀宝町内では、1時間降水量（最大値）が平尾井、相野谷で88mm、累計雨量（最大値）が桐原で810mmを記録しました。

なお、三重県内において、伊勢市および玉城町が災害救助法および被災者生活再建支援法が適用される被害となり、玉城町から応援要請があったため、紀宝町から特別参加員4名を派遣し、家屋被害調査および被災者支援業務にあたりました。

136棟の住家が浸水被害に

大雨による河川水位の上昇や浸水などの影響から、22日23時10分には、紀宝町全域の5、3、4、3世帯に避難指示を発令し、

台風第21号により被災した家屋の件数

地区	被害状況		
	床上浸水	床下浸水	計
鵜殿	0	3	3
井田	1	14	15
神内	20	14	34
成川	38	22	60
鮎田	3	3	6
高岡	8	1	9
大里	3	2	5
平尾井	0	1	1
桐原	0	3	3
計	73	63	136

ピークとなる23日午前0時20分には、78世帯128人が避難しました。

今回の記録的な大雨により、町内各地で浸水被害が発生し、73棟の住家が床上浸水、63棟の住家が床下浸水の被害を被ったほか、井田上野地区、神内地区では約1400件が停電し、農地への土砂の流入、道路の冠水、土砂災害などが発生しました。

こうした被害を受け、町では道路や施設の復旧、被災者の支援のために補正予算として約4億円を計上し一日も早い復旧に向けた取り組みを進めているほか、県や国への要望を行っています。

台風第21号対応の経過（概要）

